

川村 成二 議員

Q 千代田大橋延展区間と府中橋延展区間の新設道路整備に対する取り組み状況は

A 現地調査を行い、その結果を計画に反映します

Q 広域連携が必要な千代田大橋延展区間と府中橋延展区間の新設道路整備に対する市長の考えと取り組み状況について伺う。

A 市長 土浦協同病院の移転開院に伴い広域的に不可欠な幹線道路で、その整備は重要かつ緊急の課題と認識しています。計画につきましては、土浦土木事務所を交え、平成28年8月に開催されました石岡・かすみがうら河川広域道路整備促進協議会においてこれら2路線の整備構想が承認されました。今後につきましては、現地調査に着手し、その結果を計画に反映してまいります。

Q 歩崎周辺の今後の事業展開について、さらなる事業の拡大が見込める地域であると考えますが、今後の戦略を伺う。

A 市長 歩崎周辺におきましては、観光施設としての活用も視野に入れ、農村環境改善センターの大規模改修を予定し、この改修事業を契機に歩崎周辺の既存施設や地域資源を生かした一体的な観光誘客を進めることで全体的な価値向上を図ってまいります。

質問事項

- 1** 県南・県西地域12市町村の広域連携の取り組みについて
2 広域連携が必要な本市の新設道路の整備について
3 地球環境改善への取り組みについて(次世代自動車導入、公共施設や一般家庭のLED化普及推進、カーボン・オフセットへの取り組み、首長誓約への署名等について)
4 歩崎周辺の今後の事業展開について



▲農村環境改善センター

宮嶋 謙 議員

Q スクールバスの経費を入学準備金に振り向けてはどうか

A 十分協議を重ねてまいりたいと考えております

Q 霞ヶ浦中学校生徒394名のうち90名がスクールバスで通学しており、その経費は年間4000万円を要している。これは一人一日2000円に相当する額で通学距離的に同じ条件の千代田中学校では、ほぼ全員が自転車通学をしていることから、霞ヶ浦中学校のスクールバスは国庫補助が切れる平成30年度で打ち切つて、バスの経費を全市の新入学生への入学準備金助成に振り向けてはどうか。

A 教育部長 いわゆる子育て支援というような大きなテーマにもなる問題でありますので、十分協議を重ねてまいりたいと考えております。

Q 逆西地区には多くの公共施設が点在するが、和室、会議室、調理室、トレーニングルーム、体育室などが重複している。これを統合・再編成すれば新しいスペースが生まれ、新たな機能のサービスが提供できるのではないかと。

A 総務部長 施設の再編におきましては、各施設に特徴を持たせ、機能を分担することもひとつの手法として考えられますので、神立駅周辺整備の進展などを考慮し、検討を重ねてまいります。

質問事項

- 1** 県南地域における広域連携、合併について
2 小中学校のスクールバス運行と登下校の安全について
3 市街化区域の公共施設の再編成ならびに近隣市との連携について



▲霞ヶ浦地区スクールバス

議員 田谷 文子

Q 千代田中地区4小学校統合校の当初計画を見直しすることになった理由を伺う

A 地区懇談会の結果、困難と判断したものです

Q 千代田中地区4小学校統合校の当初計画を実施することが困難となり、その計画を見直しすることになった理由を伺う。

A 教育長 平成28年度に地区懇談会を行い、志筑地区では志筑小学校に統合、新治・七会・上佐谷地区では千代田中学校敷地に統合し小中一貫校を望む声が多数を占めましたことから、統合校の位置を志筑小学校とする計画は困難と判断し、計画を見直したものです。統合を進めるに当たりましては、引き続き志筑地区の保護者の皆様へ丁寧な説明を行い、一定の理解を得られるよう努めてまいります。

Q 千代田中学校の存続を前提とした敷地一体型小中一貫校（義務教育学校）の整備の必要性について伺う。

A 教育長 千代田中地区の小中一貫教育につきましては、千代田中地区の実情を踏まえ、敷地一体型小中一貫校か併設型小中一貫校のいずれかふさわしい形態を十分に検討してまいります。

質問事項

21 小中学校適正規模化実施計画の一部見直しについて
千代田中学校の存続を前提とした敷地一体型小中一貫校（義務教育学校）の整備の必要性について



▲千代田中学校

議員 健夫 設楽

Q 政治倫理条例の提案環境整備とは何か伺う

A 共通の高い倫理観が必要と考えます

Q 政治倫理条例制定の二元代表制における市長等特別職の責務について9回目の質問である。市長等特別職政治倫理条例の提案環境整備とは何か、先延ばし等の期間は過ぎている。真正面からの市長の見解を伺う。

A 市長 条例を提案するには、各議案における共通の高い倫理観が必要と考えます。今後につきましても、各分野の状況把握に努めます。

Q 霞ヶ浦二橋一第一橋の建設は、県道穴倉玉里線の整備として進めていく必要がある。第一橋1キロメートル（高浜入り架橋ルート）の設定と穴倉玉里線との関連、位置付けについて伺う。

A 市長公室長 霞ヶ浦二橋第一橋の橋梁建設につきましては、県の総合計画で本ルートのイメージが示されており、霞ヶ浦大橋の橋梁建設とほぼ同等の規模、地域高規格道路の延伸として構想されています。なお、霞ヶ浦二橋事業につきましては、千葉茨城道路を圏央道から百里飛行場連絡道路まで北へ延伸するルートで、交通の利便性向上、地域振興及び交流人口の拡大など県土の発展プロジェクトと位置付けられています。

質問事項

- 1 市長等特別職の政治倫理条例・政治倫理審査会の設置とコンプライアンス違反・繰り返される飲酒（飲酒仮眠）運転撲滅について
- 2 「小中一貫教育を軸とした教育環境の整備」・「介護予防日常生活支援事業の推進」・「霞ヶ浦地区児童館設立」について
- 3 神立駅を中心とした暮らしやすいまちにする新たなビジョンについて15万人に及ぶ神立・逆西地区共同運営と雨排水・農業用水管理について
- 4 霞ヶ浦二橋第一橋（八木橋1km）高浜入り架橋ルート及び協同病院接続道路について



▲霞ヶ浦二橋構想図（抜粋）

佐藤 文雄 議員

Q 4市町村による新ごみ処理施設建設の是非を住民投票で問うことはできないか、伺う

A 間違った意思決定が行われぬよう、皆様のご理解、ご協力を頂きながら進めたい

Q 4市町村による新ごみ処理施設建設費について、今、わかっているだけでもイニシャルコスト（初期費用）が200億円以上もかかる。「建設の是非を住民投票で問う」ことも考えるべきだと思いますが、市長の見解を伺う。

A 市長 私は、市政を預かる身として、最少の経費で最大の効果が得られる努力をすべきと考えております。今後、市政運営を進める上におきましても、間違った意思決定が行われぬよう、住民の方々、さらには議員の皆様のご理解、ご協力をいただきながら進めてまいりたいと考えております。

Q 市立さくら保育所に今いる保護者のほとんどが来年3月末の閉所について、「納得していなさう」との意見が出されていますが、市長の見解を伺う。

A 市長 お子様への転所に不安を持つ意見等でありまして、重く受けとめております。このご意見に対しましては、回答した後に保護者説明会を2日にわたり開催し、改めて市の考え方を説明し、ご協力をお願いしたところでございます。

1 新たな広域ごみ処理施設建設問題について
2 総合的な子育て支援について
3 公共交通システムの改善について
4 国民健康保険について
5 上下水道事業について

質問事項



▲さくら保育所

矢口 龍人 議員

Q 長期にわたる公共施設借地の解消に向けた具体的な計画について伺う

A 土地を取得する場合の価格算定基準などを策定してまいります

Q 公共施設に係る借地について、長期にわたる公共施設借地の解消に向けた具体的な計画を伺う。

A 総務部長 借地の解消に向けて、今後も必要な土地を取得する場合の価格算定基準の策定並びに公共施設としてその役割を終えるものに関する返還時期、借地を継続する場合の借地料の基準などを整理してまいります。基準を策定することで、借地更新時の交渉や買い取り時に基準になるものと考えております。

Q 平成28年度から中学校区ごとに地域コミュニティづくりが始まった。しかし、下稻吉中地区には拠点となる公民館がない。今後の具体的な対応策を伺う。

A 総務部長 当面の間は、働く女性の家や勤労青少年ホームなど、今ある施設を市民ニーズに対応できる施設となるよう検討を進めてまいります。なお、将来的には、市の中心部における公共施設の充実や市内各地区の特性を踏まえた施設配置を目指してまいります。

質問事項

1 本市の公共施設用地の借地料年間5000万円の課題にかかると今後の具体的な方針、計画はあるのかについて
2 下稻吉中地区における公民館の未整備に対する今後の具体的な方針、年次計画はあるのかについて



▲勤労青少年ホーム

来栖 丈治 議員

Q 世界湖沼会議やいきいき茨城ゆめ国体、オリンピックの機会を生かす基本的な考えは

A 地域間交流を促進させ地域活力の創造につなげてまいりたいと考えております

Q 2018年10月に本県で開催される世界湖沼会議、2019年開催のいきいき茨城ゆめ国体、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの大型プロジェクト開催にあわせ、本市においてこの機会を生かす基本的な考えを伺う。

A 市長 本市におきましては、世界湖沼会議のサテライト会場となり、茨城ゆめ国体では、ふれあいグランドゴルフとペタンク（いずれもデモンストレーションスポーツ）の会場となります。これを機に本市の自然や観光、産業、文化を広く紹介しながら地域間交流を促進させ地域活力の創造につなげてまいりたいと考えております。また、茨城県が推進しますオリンピック・パラリンピックの理念を踏まえました教育推進事業などを視野に入れ、交流と学習の機会を検討してまいります。

Q 農業者の高齢化、担い手不足、農地の荒廃化が進むなか、本市農業の将来に向け、どのような計画があるか伺う。

A 環境経済部長 本市では、農業担い手への支援として経営指標や農地の集積に関する農業経営基盤の強化に関する基本構想を策定しております。これをもとに担い手になり得る農業者に対して、経営所得安定対策や各種制度資金の借入における利子助成など安定した農業経営が図られるよう支援してまいります。

質問事項

1 世界湖沼会議、いきいき茨城ゆめ国体、そして東京オリンピック・パラリンピックなど大型プロジェクトと本市のまちづくりとの連動、対応について

32 本市の農業振興について
みんなでつくる連携と協働のまちづくりについて



▲いきいき茨城ゆめ国体マスコットキャラクター「いばラッキー」

古橋 智樹 議員

Q 幹線道路整備等連絡協議会への人員等連携強化について伺う

A 発展的運営を視野に入れながら進めてまいりたいと考えております。

Q 本市の東西に長い行政界をより実的に生かすには東西にまたがる幹線道路が必要不可欠だが、その幹線道路間について連携が必要となる石岡市との幹線道路整備等連絡協議会への人員等連携強化について伺う。

A 市長 本市と石岡市で構成する石岡・かすみがうら河川広域道路整備促進協議会の規約において、顧問は国・県関係者及び学識経験者と定められており、発展的運営を視野に入れながら進めてまいりたいと考えております。

Q 本市の暮らしやすいまちづくりイメージとして、医療機関に安定してアクセスできる交通手段も必要である。総合病院などへの需要に対応したコミュニティバスなど交通の整備方針について伺う。

A 市長公室長 平成29年度に地域公共交通網形成計画の一部見直しを進めてまいります。移動ニーズの高い千代田ショッピングモール、また、神立病院や土浦協同病院まで伸長する新たな路線を検討してまいります。

質問事項

21 6号バイパス整備等の国県事業への当市協力体制は
神立停車場線等を活用した具体的な地域活性化策は



▲工事中の国道6号バイパス
(東野寺地内から撮影)